

町立厚岸病院から ～患者目線の立場に立ち 地域医療と福祉を支えます～

■令和4年度患者数・決算状況

(単位：人)

入院患者	10,236
内科	8,694
外科	1,539
小児科	3
外来患者	36,674
内科	23,154
外科	4,254
小児科	5,281
整形外科	3,327
脳神経外科	658

(単位：千円)

内 訳	金 額
病院事業収益	1,318,441
医業収益	787,398
入院収益	240,994
外来収益	308,031
その他医業収益	91,587
負担金	146,786
医業外収益	531,043
患者外給食・その他医業外収益	90,883
他会計補助金・負担金	421,466
道補助金	18,694
特別利益	0
病院事業費用	1,297,286
医業費用	1,233,589
給与費	781,057
材料費・経費	365,697
減価償却費・資産減耗費	84,894
研究研修費	1,941
医業外費用	63,697
支払利息及び企業債取扱諸費	17,584
医療技術員確保対策費	23,583
雑損費及び長期前払消費税勘定償却	22,530
特別損失	0
当年度純利益	21,155

※表示単位で四捨五入しているため合計額等は一致しません

●問い合わせ／町立厚岸病院 ☎ 52-3145

町立厚岸病院は、町民の命と健康を守り、誰もが安心して生活できる地域社会を支える中核的な医療機関として、内科、外科、小児科の基本診療に加え、整形外科および脳神経外科の定期診療と、24時間の救急医療体制、透視医療や入院機能を有し、急性期から慢性期の患者さんの診療、そして地域での生活を支える医療機関として、地域医療を提供しています。

また、乳幼児健診から一般健診までの各種健診による早期疾病の発見や、健康づくり事業と連携した各種予防接種の推進、健やかな生活を送るための健康講話、医療講演会など、健康維持・予防への取り組みにも力を注ぎ、『人生100年時代』と言わ

れるようになった今日、若者から高齢者まで、全ての人が元気に活躍し続けられる社会の構築に向け、福祉との連携を進め、在宅での生活全般を支援していきます。

医師体制について

令和4年度における診療の基本となる医師体制は、4月に常勤医師1人を採用し、常勤医師4人と定期非常勤医師1人の体制となりましたが、24時間の救急医療体制や地域医療の継続には、安定した医師体制の整備が重要となります。

また、専門外来診療としては、消化器検査診療のほか、釧路赤十字病院から整形外科診療、釧路労災病院から脳神経外科診療を継続できたところだ。

不採算な医療の体制維持

町立厚岸病院は、公営企業という観点から、経営にあつては独立採算を求められる企業です。

しかし、町立厚岸病院は自治体病院でもあり、地域で必要とされる医療の中でも民間の医療機関が提供困難な分野である、へき地医療や24時間救急医療、高度医療などを確保し、提供する使命と役割を担っています。

こうした医療は『不採算医療』と呼ばれ、この体制を維持するために国からの交付金のほか、町からの財政支援により、病院経営が成り立っています。

患者数の状況

令和4年度の患者数の動向については、入院患者数で1万236人となり、前年度対比1267人（11・0％）の減少となりました。

また、外来患者数では、3万6674人となり、前年度対比330人（0・9％）の減少となりました。

収支状況の概要

令和4年度は、前年度と比較し入院患者数、外来患者数が共に減少となりましたが、外来収益では、新型コロナウイルス感染症に伴う検査料や診療報酬加算による診療単価増により対前年度比増となったほか、一